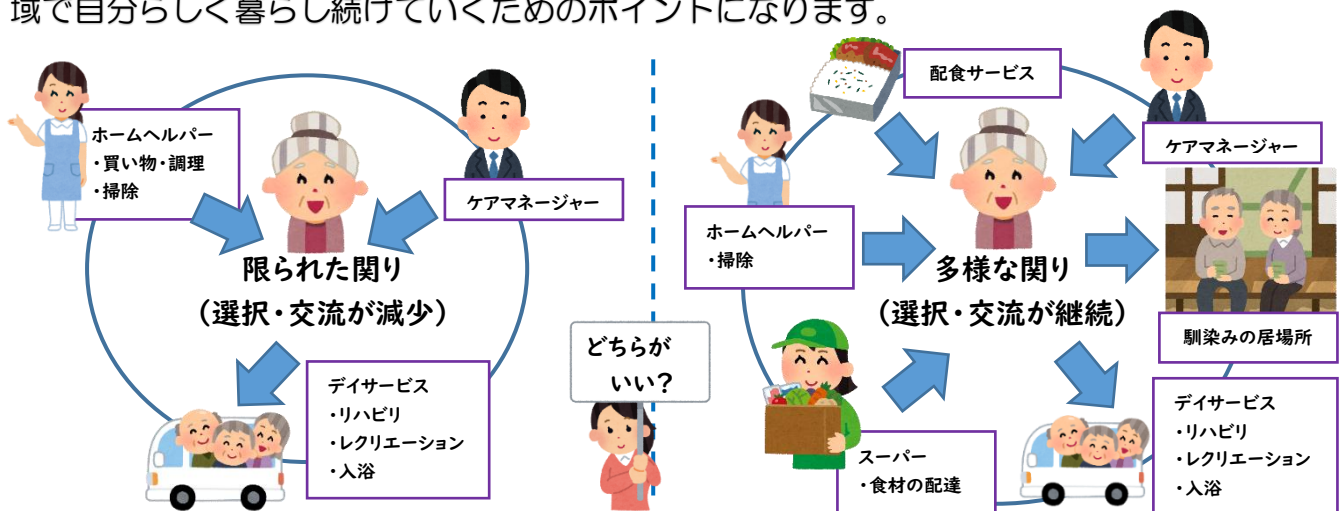


輪ちゃん(生活支援コーディネーター)とは
地域主体の助け合い・支え合い活動が出来るような「地域づくり」の輪をつなぐために活動しています。

👉 上手に活用、民間サービス

地域包括支援センターにはさまざまな相談が寄せられます。支援が必要になったら、介護保険サービスがありますが、それ以外にも活用できる民間サービスも増えてきました。

何らかの支援が必要になった際に、色んなサービスを上手に活用することが、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていくためのポイントになります。



地域の社会資源（多様なサービス）の情報は輪ちゃんまでお尋ねください。

👉 白石高校商業科キャンパスの学生と連携しています。

白石高校商業科キャンパス2年生の「総合的な探求の時間」では、町内外の様々な企業や行政などの取り組みに対して、高校生自らがその取り組みにおける課題を解決するために、高校生の目線でアイデアを出し、課題解決のための提言を行われています。

今年度、大町町で取り組むシルバーeスポーツ教室・体験会に対して、6名の学生の皆さんが企画を考えていただきました。

昨年5月から福祉課との打ち合わせを始め、1月16日には、町長、副町長、教育長、福祉課長を前に、企画のプレゼンテーションを行われました。企画本番は3月ですが、本番に向け、学生の皆さんの活躍を応援していきます。



企画の開催内容については、次回の輪ちゃんだよりで報告します！

👂 認知症多職種協働研修会を開催しました。

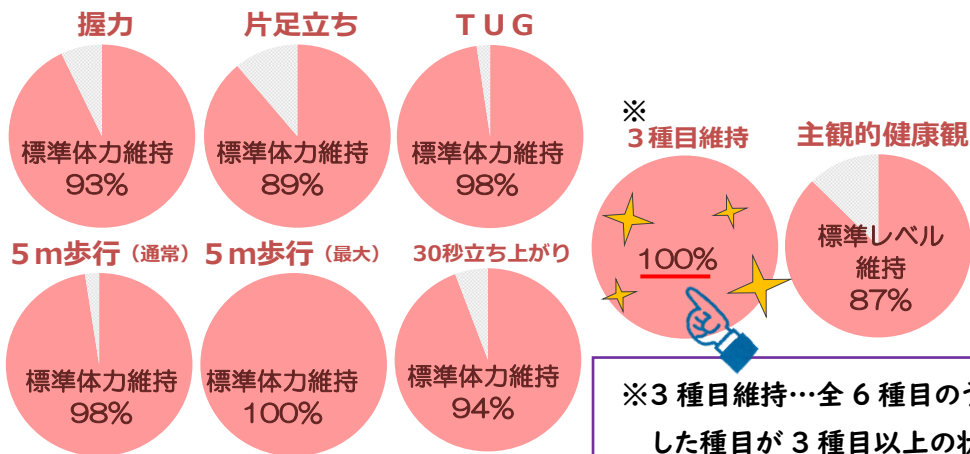
家族介護者を講師に迎え、医療・福祉の専門職を対象とした研修会を開催しました。これまでのエピソードや家族としての想い、認知症になっても本人の尊厳を最大限に尊重したいという気持ちを話していただき、参加者からは、家族の声が聴けて良かったという声を多数いただきました。



👂 やってみよう、住民主体の通いの場

いきいき百歳体操に取り組まれている9地区で、1年間の体力測定の結果を比較したところ、ほとんどの項目で体力の維持が図れていました。参加者の感想として、「楽に歩けるようになった。」「背筋が伸びて姿勢が良くなった。」「荷物を持てるようになった。」といった声が聴かれています。また、認知症の予防や進行防止にも筋力運動は非常に効果的です。

〈体力測定の結果・・・令和3年度 令和4年度 比較〉



1人だと続かんけど皆でするから続けられるよ。



※3種目維持…全6種目のうち標準以上の体力を維持した種目が3種目以上の状態を維持した人の割合

百歳体操に使用する「DVD」と「重り」は福祉課で貸し出しがあります。

〈編集後記〉

私の祖母は一昨年、104歳で長寿を全うしました。祖母は大変長生きをさせていただきましたが、95歳を過ぎてからは物忘れが出始め、アルツハイマー型認知症の診断を受けました。症状も進み、最後の数年は施設でお世話になりました。認知症になると何も分からなくなると思いがちですが、施設での祖母は、他の入居者の世話をしたり、職員の方々を気遣ったりと、最後まで他者を思いやっていました。そのような祖母を見て、認知症は恥や外面などが抜け落ちて、その人の本来の姿に戻っていく人生の集大成だと思いました。(溝口)

発行/大町町地域包括支援センター (福祉課内) 住所/大町町大字大町5000番地 (美郷内)

電話/ (0952) 82-3187 FAX/ (0952) 82-3060

写真…向かって左より

輪ちゃん (生活支援コーディネーター) 桑原・溝口・中島

